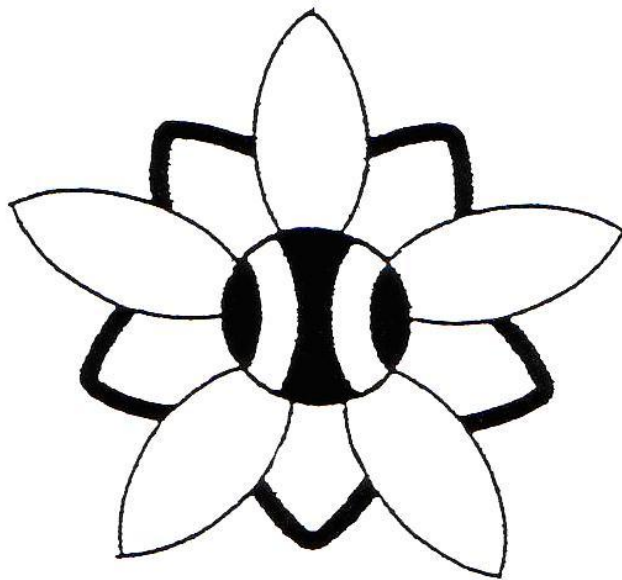


学校教育に関する意識調査 (学校評価)

第1回(1学期末)

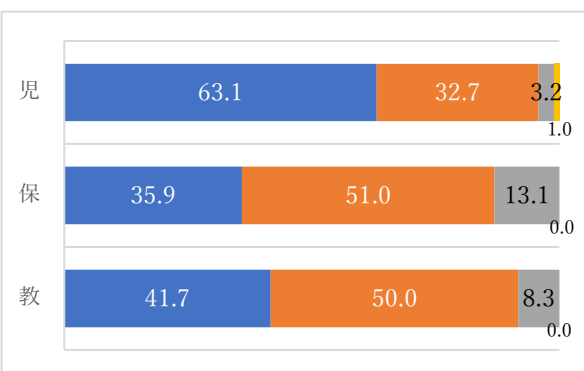
第2回(2学期末)



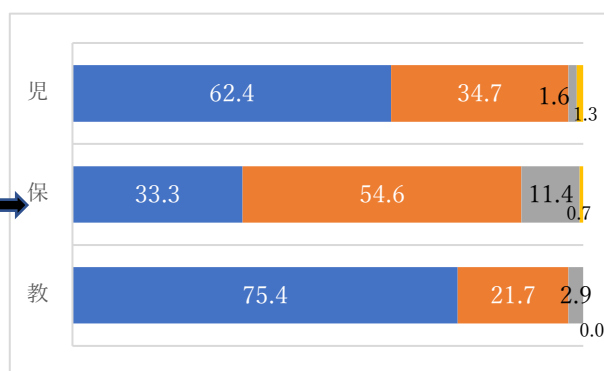
今治市立大西小学校

1 いろいろな活動に意欲をもって取り組んでいる。

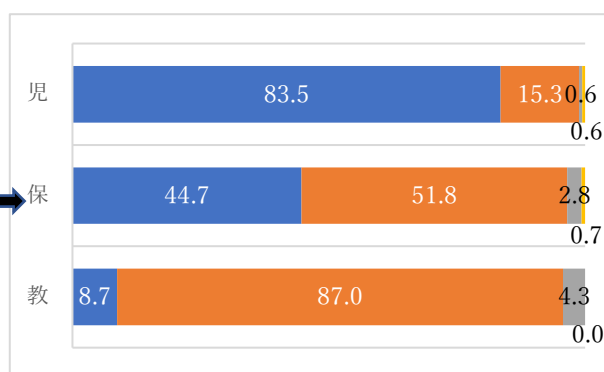
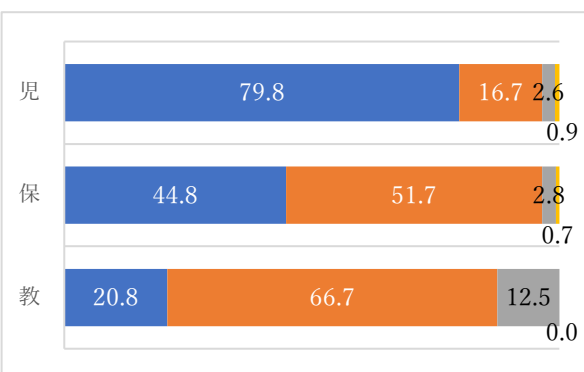
1 学期末



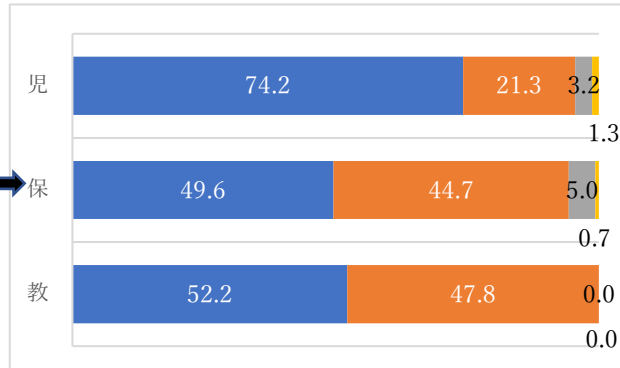
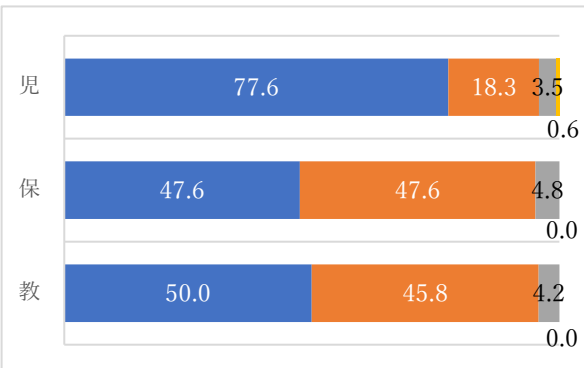
2 学期末



2 自分や友達を大切にできる心や感動する心が育っている。



3 明るく生き生きと学校生活を送っている。



○ 「良い・大体良い」の割合が8割以上あります。

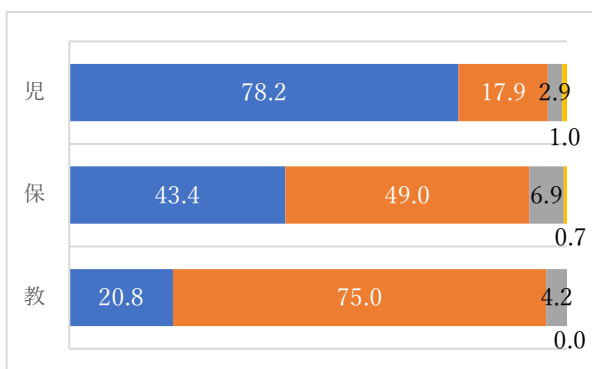
● 様々な活動に意欲的に取り組んでいると感じられていない保護者の割合が1割程度あります。学校では、日々の授業を通じて児童が「楽しい！」「やってみたい！」と思えるきっかけをつくり、主体的な学びを促してきました。今後は、児童の興味・関心がさらに高まるよう学習課題を再検討し、授業改善に努めてまいります。また、昨年度からは縦割り班活動を積極的に取り入れ、6年生が中心となって計画・運営を行っています。今後も、児童一人一人が主体的な活動を行っていきけるよう支援していきたいと考えています。

Ⅱ 望ましい学校像

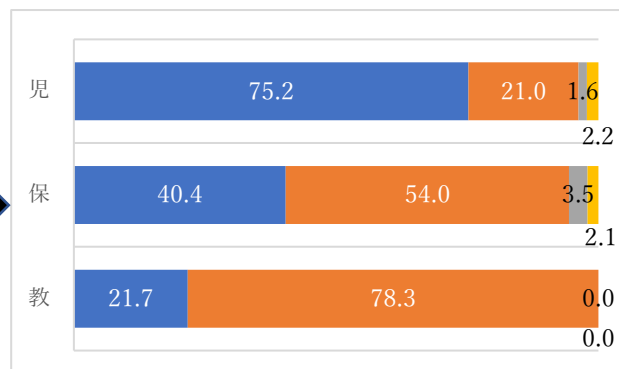
良い（青） 大体良い（橙） やや不十分（灰） 不十分（黄）

4 「明日も行きたい楽しい学校」になっている。

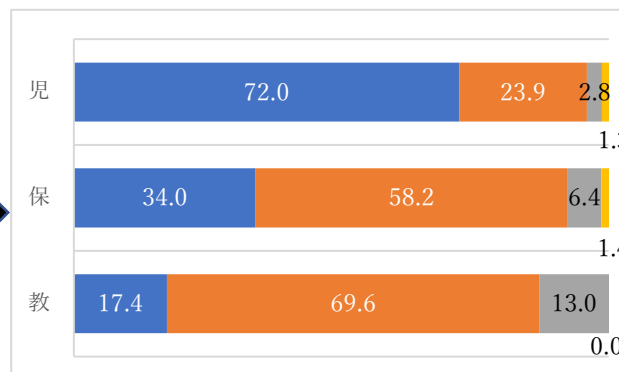
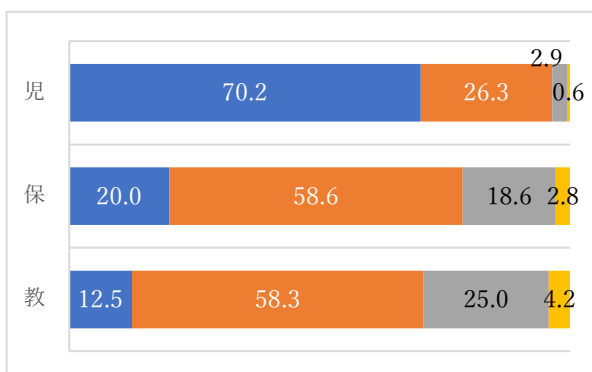
1 学期末



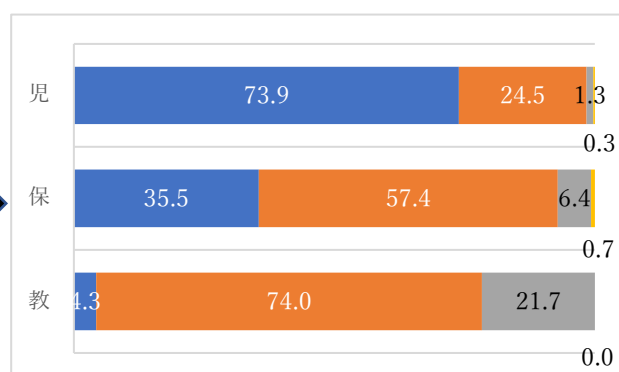
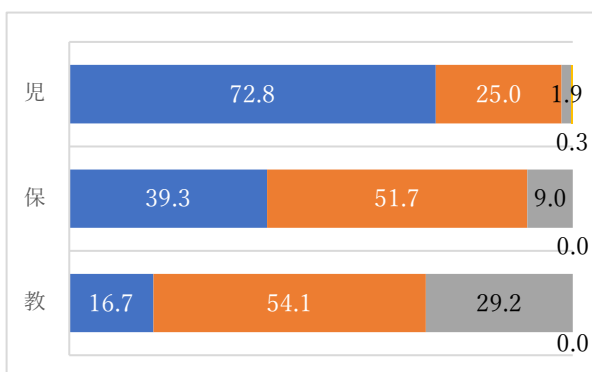
2 学期末



5 環境が整い、美しい学校になっている。



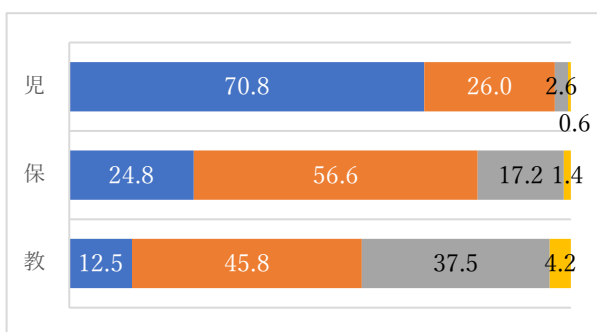
6 相手を思いやり、約束やきまりをきちんと守る学校になっている。



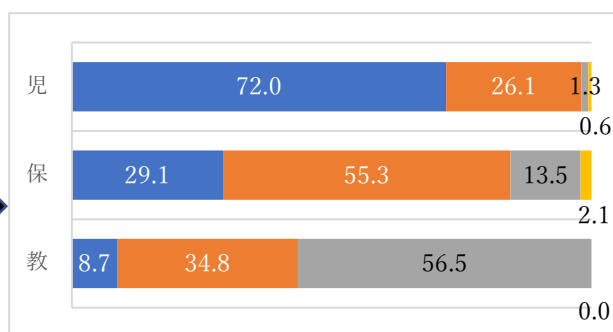
- ほとんどの項目で、「良い・大体良い」の割合が8割以上あります。
- 楽しい学校と感じている割合が児童・保護者で高くなりました。これからも、「明日も行きたい楽しい学校」となるよう取り組んでいきます。
- 「環境が整い、美しい学校になっている」という項目で、「良い」と回答した割合が高くなりました。11月、校舎の雨漏り修繕やトイレの改修工事が無事に完了し、児童にとって過ごしやすい環境が整ったことが、この結果につながったものと考えられます。
- 「相手を思いやり、約束や決まりを守る」という項目において、「良い」と回答した割合が減少傾向にあります。本校では、毎月の「なかよしアンケート」を通じて児童一人一人の声に耳を傾けるとともに、教育相談等で悩みや心の変化を早期に把握し、迅速な解決に努めております。今後も、児童が安心して過ごせる居場所を整え、「明日もまた行きたい楽しい学校」を目指していきたいと思います。

7 家族や教師、友達の話をしっかり聞いている。

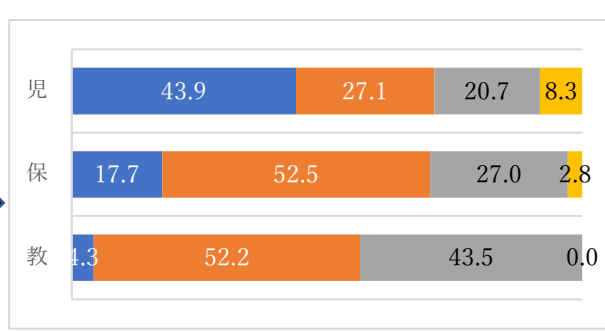
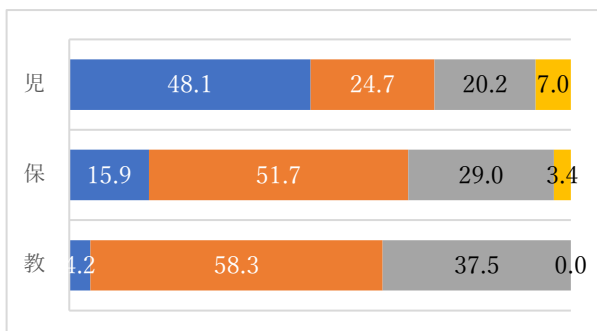
1 学期末



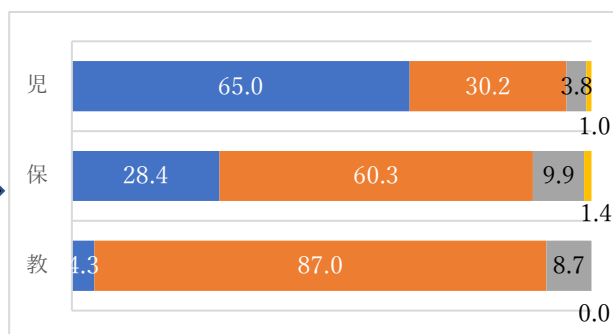
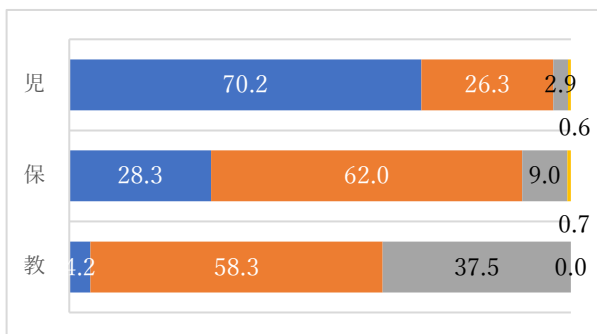
2 学期末



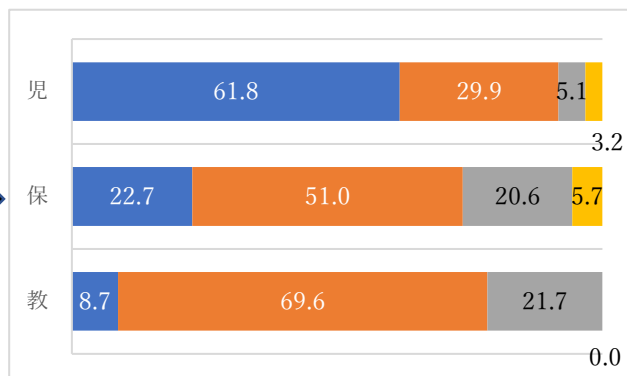
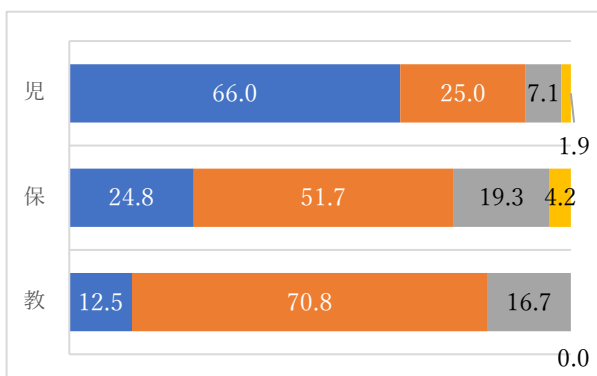
8 自分の意見や考えをうまく説明したり、伝えたりできる。



9 授業は、分かりやすく楽しい。



10 学校の宿題や自主学習など、家庭学習の習慣が身に付いている。



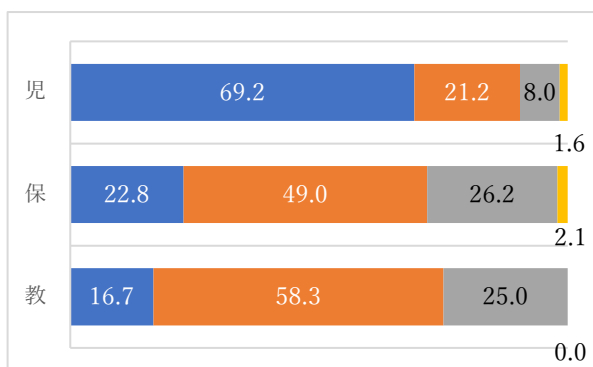
- 他の項目と比べて、「やや不十分・不十分」の割合が多くなっています。傾聴の姿勢が身に付いており、周囲の話を真摯に聞くことができます。その一方で、自分の考えを言語化し、相手に伝える力を高めていくことが課題です。そこで、自分の考えを発表したり意見をまとめたりする機会を意図的に設け、自信を持って自己表現ができる授業を展開していきたいと考えています。また、学習習慣の定着や、学びに対する主体性の向上を図るため、児童が「学ぶ楽しさ」や「探究する喜び」を実感できる授業づくりに努めてまいります。

Ⅳ 豊かな心の育成

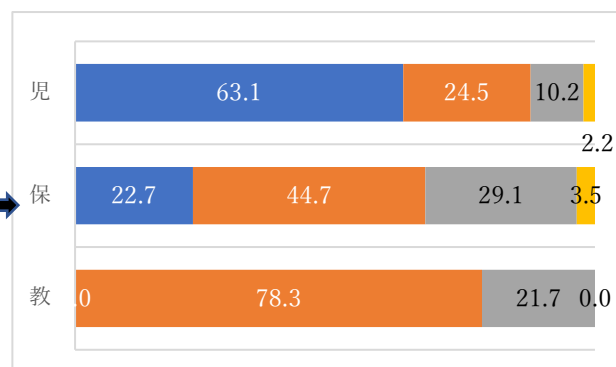
良い（青） 大体良い（橙） やや不十分（灰） 不十分（黄）

11 友達や教師、地域の方へ進んで「笑顔で挨拶」をしている。

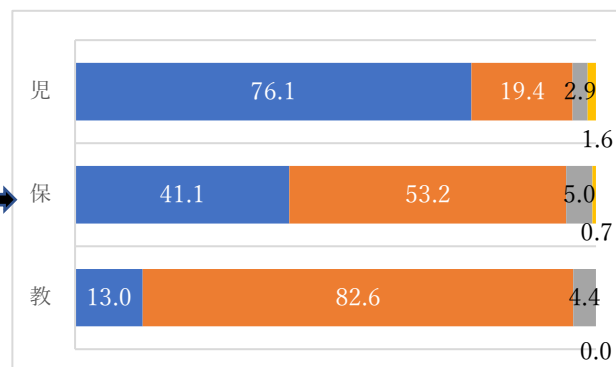
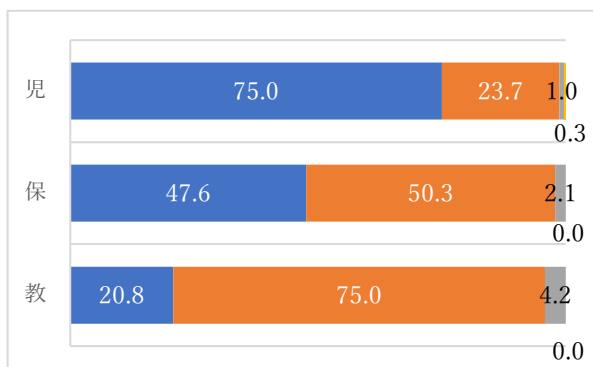
1 学期末



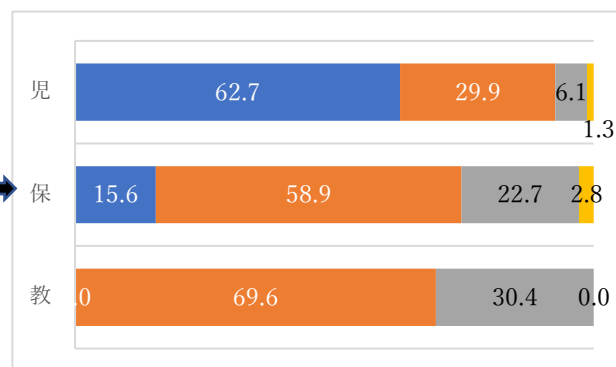
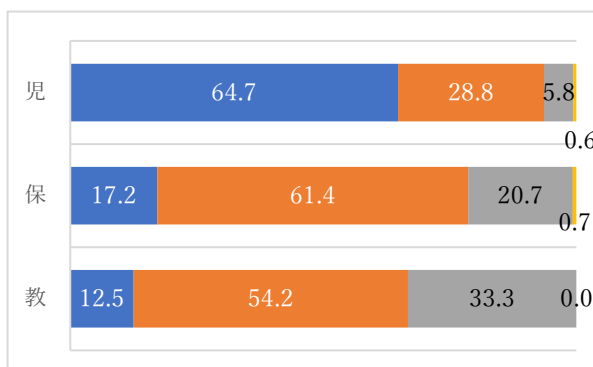
2 学期末



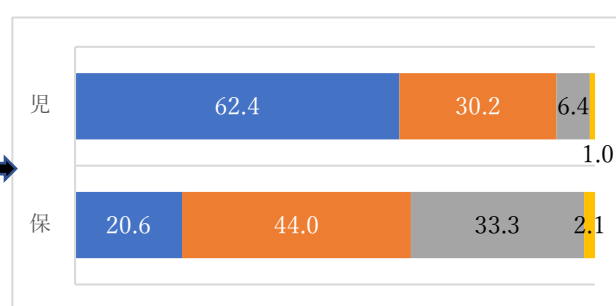
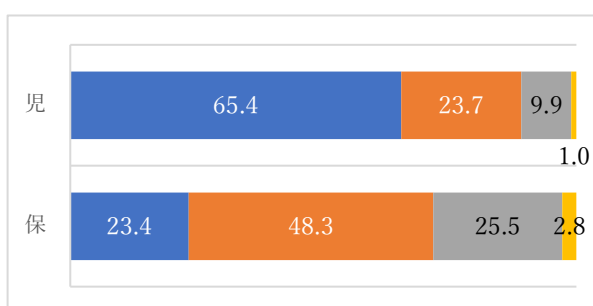
12 いじめや差別をしない・させない・許さない心が育っている。



13 元気な返事や、正しい言葉遣いができる。



14 家のお手伝いをよくする。



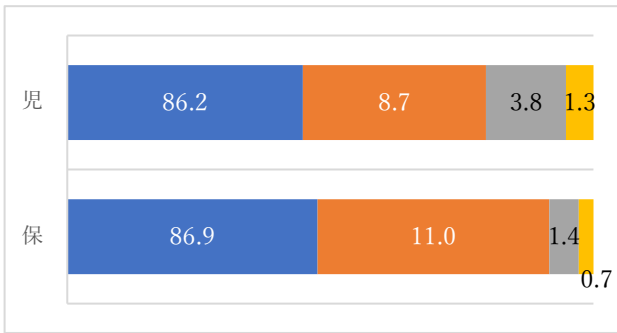
- 挨拶の項目において「やや不十分・不十分」の割合が多くなっています。現在学校では、生活委員会を中心に、活気ある挨拶運動を展開しています。気持ちの良い挨拶ができた児童を昼の放送で紹介するなど、全校で認め合い、挨拶の輪を広げる工夫をしています。今後も、地域に元気な挨拶が響きますよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。また、地域の皆様に「見守り隊」として児童の安全を支えていただき心強く思います。

V 健やかな体の育成

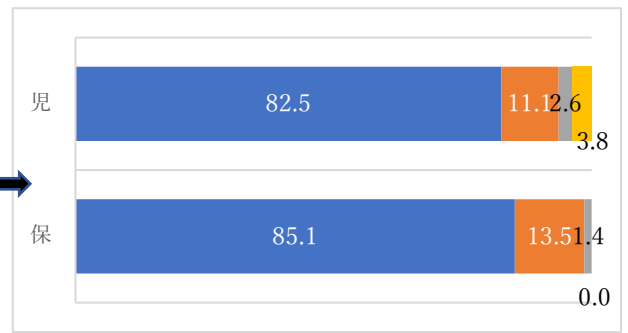
良い（青） 大体良い（橙） やや不十分（灰） 不十分（黄）

15 毎日朝食を食べる。

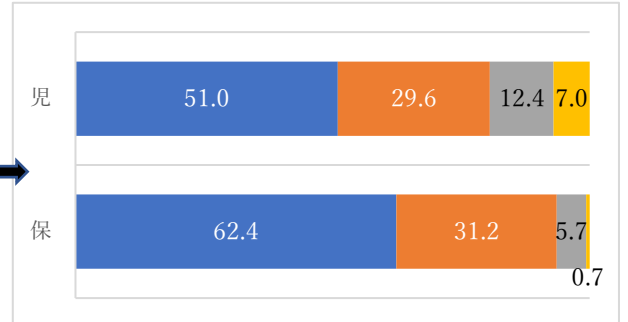
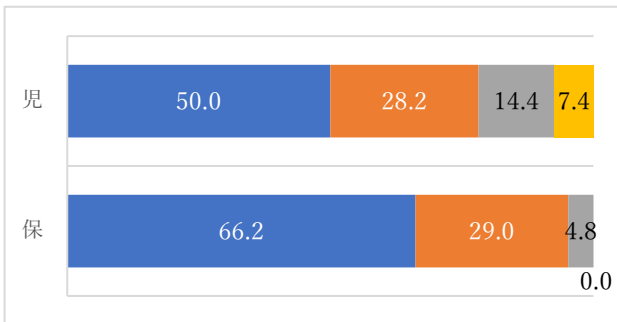
1 学期末



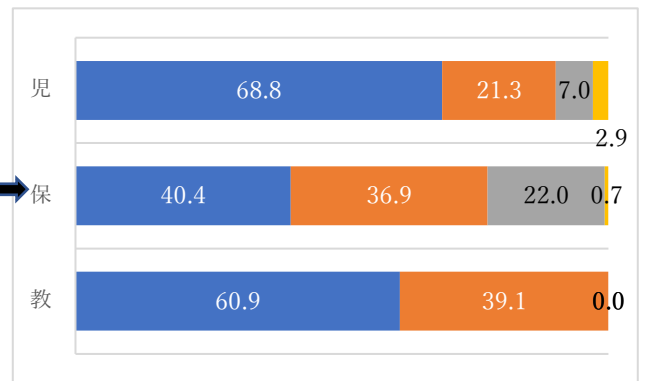
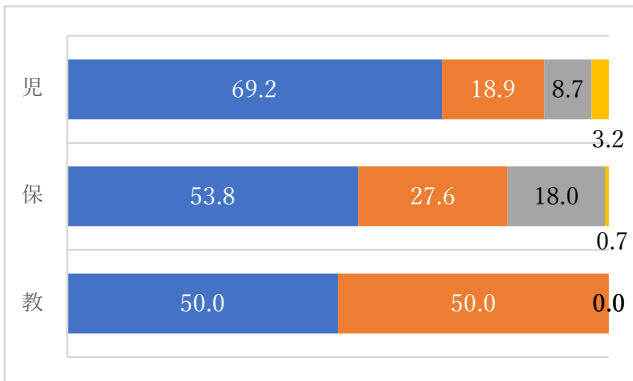
2 学期末



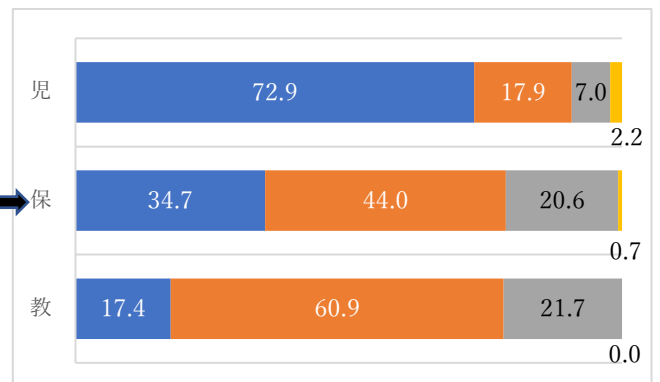
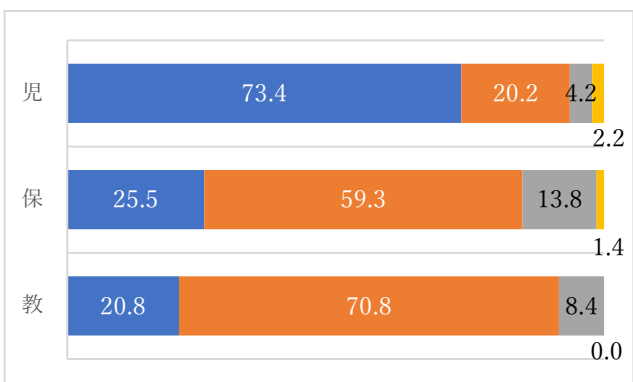
16 毎日同じくらいの時刻に寝たり、起きたりしている。



17 外で元気よく遊んだり、運動をしたりしている。



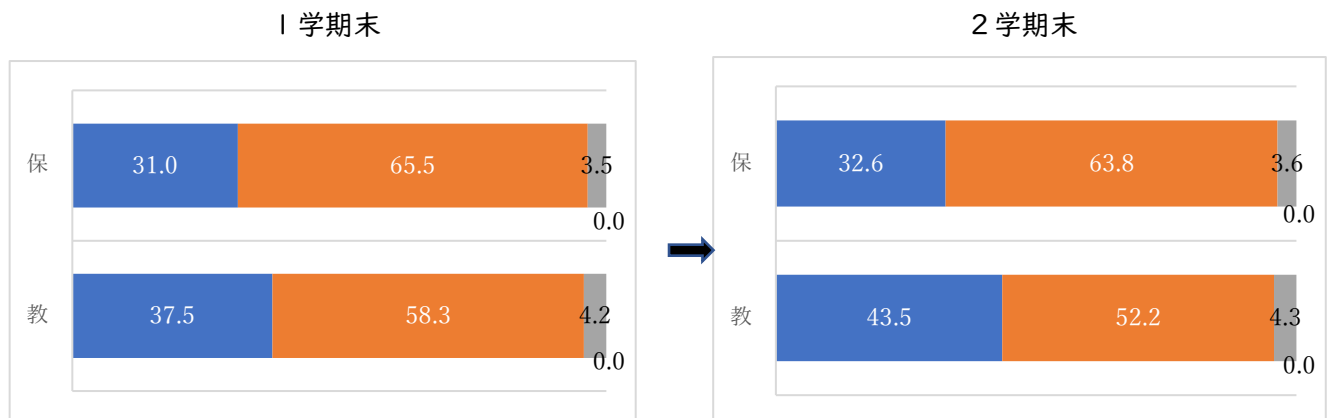
18 マスクを着用したり、手洗いをしたりして感染予防等健康管理に努めている。



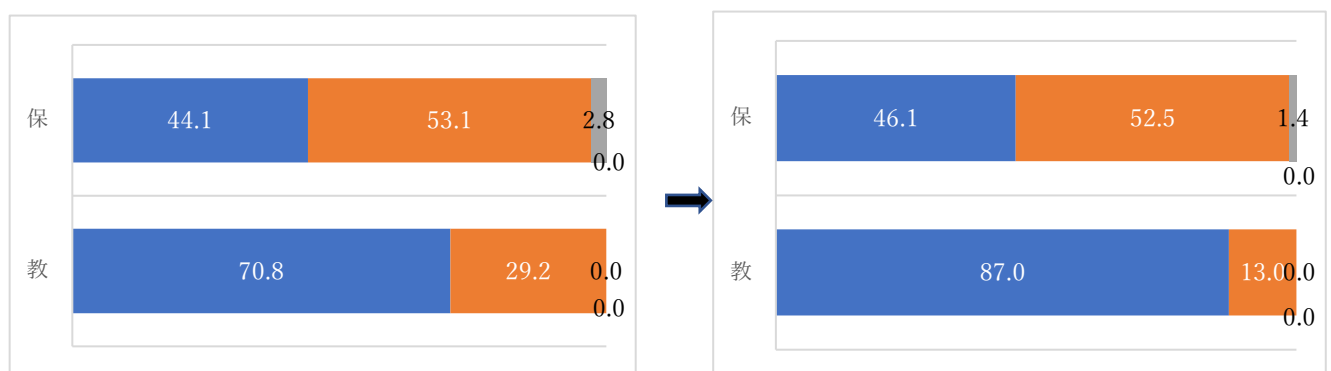
○ ほとんどの項目で、「良い・大体良い」の割合が8割程度あります。

● 児童の中には、朝食の欠食や不規則な生活、運動不足などの傾向が見受けられる子もいます。今後、体育科の保健の授業や「保健だより」等を通じ、健康的な生活習慣の大切さを指導してまいります。また、手洗い・うがいや状況に応じたマスクの着用など、感染症対策も継続して行います。ご家庭におかれましても、規則正しい生活を心掛けていただくとともに、スマートフォンやゲームの使用ルールの見直しなど、ご協力をお願いいたします。

19 学校・家庭・地域がともに協力して子どもを育てようとしている。



20 学校は、学年便り・学校ホームページ等で、教育方針・力を入れて取り組んでいること、児童の様子などの情報を積極的に発信している。



○ これからも学年通信やホームページ、マチコミなどで、学校の様子を発信し、児童の活動の様子を見ていただけるように尽力してまいります。

● 学校とご家庭、そして地域の皆様との連携は、子どもたちの健やかな成長に欠かせません。今後とも、学力向上や健全育成に向け、皆様と緊密に協力しながら教育活動を推進してまいりたいと存じます。

VII その他(学校がよりよくなるための要望やお気付きの点)への回答

学校の教育活動に関するご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。今回は、とても多くのご意見等をいただきましたので、類似のご意見はまとめて、現時点で書面にて回答できるものを紹介させていただきます。

【児童への指導について】

- 連帯責任で全体に指導するばかりでなく、一人一人を見て悪い事にはしっかりと叱り、良い事にはしっかりと褒めるというような、メリハリをつけた指導をしていただければと思います。
- 一人一人の児童に寄り添った指導をしてほしい。

児童への指導について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後は、全体への指導と個々の状況に応じた指導を明確に区別し、より適切な対応を心がけてまいります。また、ご指摘の通り「良い点は褒めて伸ばし、改善すべき点は毅然と指導する」という方針を徹底していく所存です。子どもたち一人一人が望ましい行動ができるよう、教職員が一丸となって全力で取り組んでまいります。

個に応じた指導にあたっては、子ども一人一人の思いや考えを尊重し、温かく支持的な関わりに努める所存です。今後、子どもたちが傷ついたり不快な思いをしたりすることのないよう、全教職員が自らの指導のあり方を真摯に見つめ直し、児童の心に寄り添った指導を徹底してまいります。

【トイレの改修について】

- 1、2年生の教室の方のトイレも改修して欲しい。

昨年10月に本館トイレの改修は完了しましたが、1、2年生及び5組、6組、7組の教室がある新館の洋式トイレは、従来の各階男女1か所のみのままで、他の部分は未改修です。新館トイレの本館並みの全面改修を学校としての最優先要望事項として、来年度以降関係当局に強く継続して要望していきたいと思っています。

【児童の下校時刻について】

- 帰りの会の時間が、学年、クラスによって差があるため、できるだけ終わりの時間を揃えてほしい。

学年によって下校時刻が異なり、保護者の皆様にはご心配とご不便をおかけいたしました。今後は学年間での連携を密にし、校時表に沿った下校体制を整えていく所存です。

【学習について】

- 国語の宿題は穴埋めのプリントになっている。昔は文字のけいこで一文全部書いていたので覚えが良かったが、今の穴埋め式だとその漢字しか覚えず文法や文章構成等の力が育っていない。そのため話す時も単語ばかりの構成で何を言っているのか分からないときがある。少し宿題や学校の教材等見直した方がいいと思う。
- 娘を見ていて楽しく日々過ごせているようで私も嬉しく思います。ありがとうございます。1つお願いがあるのですが、算数の博士テストが今年度よりパソコン入力になりなかなか一回では合格できなくなった娘です。紙ベースの宿題の時はクリアできて、なかなかパソコン入力でミスをしたり、設問を読み飛ばしたりと、勿体無いミスもしてしまっているようです。娘は「算数博士テストは紙でやりたいな」と言っていますが、本番のテストをパソコン入力にするのであれば、宿題もパソコンで出していただき、『画面上の問題を見て、机上で解いて、画面に入力する』この3段階の練習をさせてほしいなと思いました。お忙しいとは思いますが、ご検討のほどよろしくお願いします。

教材の見直しに関するご指摘をいただき、ありがとうございました。本校では毎年学年末に、次年度に使用する教材の採択を行っております。児童の実態に即した教材について校内で協議を重ねておりますが、今後は「子どもたちにどのような力を身に付けさせるか」をより明確にし、教材の精査・見直しを進めていく所存です。また、日頃の教材研究を通じた授業改善にも注力し、子どもたちの確かな学力の定着を図ってまいります。

博士テストの実施方法についてのご意見、ありがとうございました。現在、一部の学年でタブレット端末を用いてテストを実施しています。（いわゆる「C B T方式（Computer Based Testing）」コンピュータを使用して行う試験方式）背景には、文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」が、今年度は中学校の理科で、来年度（R8）は中学校の英語で、再来年度（R9）からは小中学校ともC B Tを全面実施する予定になっているほか、世界規模で実施されているOECD生徒の学力到達度調査（PISA調査）においても、各国ともC B T実施に共通されていることなどから、今後、社会一般においてC B T方式の実施が急速に促進されていくことが予想されます。一方、鉛筆を持ち、紙に書く学習やテストも子どもの思考力等を育むために必要との識者の見解も聞きます。そこで、今後は、学年の発達段階や学習内容、テストの設問内容等に合わせて、従来の紙テストとC B Tとを適切、柔軟に選択し実施するとともに、授業での小テストや宿題等の家庭学習においてもタブレット端末の活用を、適宜取り入れていこうと考えています。

【朝マラソンについて】

- 今年の冬の朝マラソンはあまり走れなかったと子どもは残念そうでした。可能であれば昨年までのように毎朝行う方が健康面でも良いのかなと思います。

ご指摘のように、今年度の朝マラソンは、週2回の実施といたしました。これは朝の業前活動の内容を2日は体力向上を、2日は学力定着を、それぞれ実施するために見直したためです。実施回数が昨年度の半分となった分、各学級では体育の時間や休み時間を活用して体力づくりに励めるよう、教員による声掛けやワークシートの活用に努めてまいりました。来年度は、ご意見も踏まえて、朝マラソンのあり方について、検討・改善を進めてまいります。

上記に挙げているご意見の他にも教職員のことを気遣ってくださる御意見や指導方法についてのご意見もありました。大変励みになります。ありがとうございました。教職員全体で共有し、改善していきます。今後もお気づきのことがありましたら学校までご連絡いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

アンケートへのご回答ありがとうございました。今回の結果を真摯に受け止め、子どもたちにとって明日も行きたい楽しい学校になるよう、努力していきます。今後ともよろしくお願いいたします。